

[果樹部門]

4. ストロビルリン系薬剤耐性のブドウ褐斑病菌に対するオンリーワンフロアブルの有効性

[要約]

オンリーワンフロアブルはストロビルリン系薬剤耐性のブドウ褐斑病菌に対して防除効果が高い。また、本剤の散布による「ピオーネ」果粒の汚れは認められず、果粉溶脱は少ない。

[担当] 病虫研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 技術

[背景・ねらい]

県内各地の「ピオーネ」産地でストロビルリン系薬剤（商品名：アミスター10フロアブル、ストロビードライフフロアブルなど）に耐性を持つ褐斑病菌が高率に出現して、防除上の問題となっている。そこで、これらの耐性菌にも効果が高い殺菌剤を選抜して、褐斑病の防除対策に資する。

[成果の内容・特徴]

1. ストロビルリン系薬剤に耐性のブドウ褐斑病菌が発生している圃場において、ストロビードライフフロアブル 3,000 倍液やアミスター10フロアブル 1,000 倍液は防除効果がほとんど認められないが、オンリーワンフロアブル 2,000 倍液は非常に高い防除効果が認められる（図1）。
2. オンリーワンフロアブル 2,000 倍液の散布によって、「ピオーネ」の葉や果粒に薬害は認められない。また、収穫果房における果粒の汚れは認められず、果粉溶脱は少ない（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本剤は 2010 年 7 月にブドウ褐斑病に適用拡大されている（収穫前日まで / 3 回以内）。
2. 褐斑病が進展した後にはオンリーワンフロアブルでも効果が不十分となるため、発病前または発病初期（県南部の簡易被覆栽培で 6 月上旬～中旬頃）から散布する。
3. オンリーワンフロアブルは EBI 剤の 1 種であり、病原菌の本剤に対する耐性の発達を防止するため、本剤を含む EBI 剤の使用回数は年間 2 回までにとどめることが望ましい。
4. オンリーワンフロアブルはべと病には効果がないため、べと病の登録薬剤で対応する。

[具体的データ]

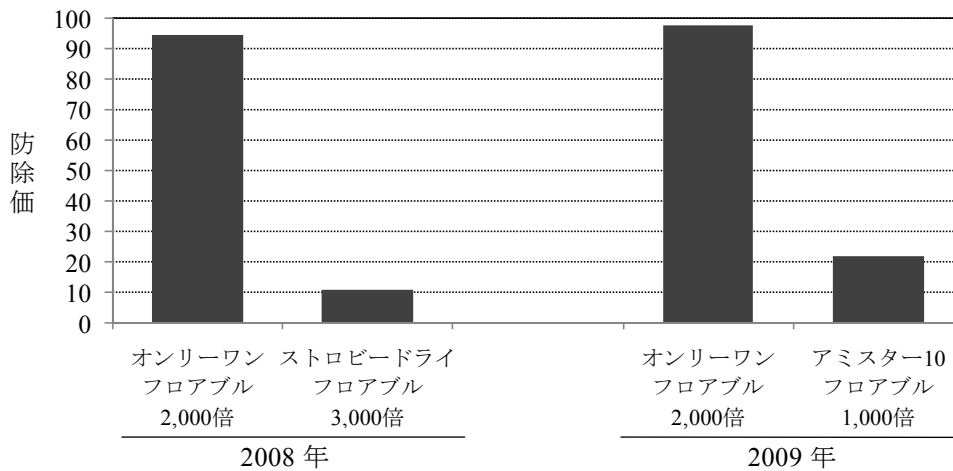


図1 ストロビルリン系薬剤耐性の褐斑病菌の発生圃場におけるオンリーワンフロアブルの防除効果

注) 試験場所：農業研究所病虫研究室圃場、品種：ピオーネ（簡易被覆）
 2008年度試験：薬剤散布日；2008年6月4日、6月17日、7月1日
 発病調査日；2008年8月18日、発病程度；多発生
 2009年度試験：薬剤散布日；2009年6月8日、6月19日、7月3日
 発病調査日；2009年7月18日、発病程度；多発生

表1 オンリーワンフロアブルが「ピオーネ」の生育に及ぼす影響（2008年度試験）

| 薬剤名 | 希釈倍数 | 薬害 | | 果粒の汚れ | 果粉溶脱 |
|---------------|--------|----------------|----|-------|----------------|
| | | 葉 | 果粒 | | |
| オンリーワンフロアブル | 2,000倍 | — ^z | — | — | 少 ^y |
| ストロビードライフロアブル | 3,000倍 | — | — | — | 少～中 |
| 無散布 | | | | — | — |

^z —；症状が認められないことを示す。

^y 無、微、少、中、多の5段階で評価。

[その他]

研究課題名：ストロビルリン系薬剤耐性ブドウ褐斑病防除対策

予算区分：県単（現地緊急対策）

研究期間：2007～2009年度

研究担当者：井上幸次